

平成24年行政事業レビューシート (復興庁・文部科学省)

<b>事業名</b>	革新的エネルギー研究開発拠点形成	<b>担当部署</b>	研究開発局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度～平成28年度	<b>担当課室</b>	環境エネルギー課	復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 尾関 良夫 文部科学省研究開発局環境エネルギー課長 篠崎 資志				
<b>会計区分</b>	東日本大震災復興特別会計	<b>施策名</b>						
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>		<b>関係する計画、通知等</b>	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年閣議決定)					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	復興基本方針に基づき、福島県において再生可能エネルギー等に関する開かれた世界最先端の研究拠点の形成を実現する。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	卓越した洞察力と指導力を備えたプロジェクトリーダー(研究総括)のもと、超高効率太陽電池の創出を目的として、若手を含む多様なバックグラウンドを持つ研究者を結集させ、世界最先端の研究開発拠点を形成する。経済産業省の福島県再生可能エネルギー研究開発拠点整備事業(平成23年度第三次補正予算)により福島県に整備される研究開発拠点と連携し、超高効率太陽電池の実現を目指した基礎から実用化まで一貫した研究開発を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算				1,185	1,685	
		補正予算				0		
		繰越し等				0		
		計				1,185	1,685	
		執行額						
	執行率(%)							
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	①超高効率太陽電池に関する研究開発を通じて、世界最先端の研究拠点を形成すること		成果実績					—
	②太陽電池の変換効率		達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	研究チーム数		活動実績(当初見込み)			( )	( )	—
								8
<b>単位当たりコスト</b>	148(百万円/研究チーム数)		算出根拠	平成24年度予算額÷研究チーム数				
<b>平成24・25年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	科学技術振興謝金	0.1百万円	0.1百万円					
	科学技術振興職員旅費	0.2百万円	0.2百万円					
	科学技術振興委員等旅費	0.1百万円	0.1百万円					
	科学技術振興庁費	0.1百万円	0.1百万円					
	環境技術等研究開発推進事業費補助金	1,184.5百万円	1,684.5百万円					
	計	1,185百万円	1,685百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	東日本大震災からの復興の基本方針に基づき、福島県への再生可能エネルギーに関する開かれた世界最先端の研究拠点を形成するために実施するものであり、国が実施すべき、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	研究総括及び、総括を支える拠点形成支援機関については、外部有識者による審査委員会において選定を実施しており、競争性が確保されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	文部科学省、経済産業省及び関係機関等からなるガバナリングボードにおいて、福島県再生可能エネルギー研究開発拠点整備事業等の経済産業省の関連事業との連携・協力を促進することとしており、実効性の高い事業となっている。 超高効率太陽電池に関する研究開発を通じて、世界最先端の研究拠点を形成することを成果目標としている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災からの復興の基本方針に基づき、福島県において再生可能エネルギー等に関する開かれた世界最先端の研究拠点の形成を実現するものである。</li> <li>文部科学省、経済産業省及び関係機関等からなるガバナリングボードにおいて、関連事業との連携・協力を促進することとしており、実効性の高い事業となっている。</li> <li>外部有識者からなる審査委員会において、研究総括及び総括を支える拠点形成支援機関を選定しており、競争性は確保されている。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>東日本大震災からの復興の基本方針  <a href="http://www.reconstruction.go.jp/topics/110811kaitei.pdf">http://www.reconstruction.go.jp/topics/110811kaitei.pdf</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

文部科学省  
1,185百万円

諸謝金 :0.1百万円  
職員旅費 :0.2百万円  
委員等旅費 :0.1百万円  
庁費 :0.1百万円 } を含む

事業の企画、立案、進捗状  
況管理、指導等

【公募・委託】

A.  
大学、独立行政法  
人等

1,185百万円

研究総括の指示のもと、福  
島県への世界最先端の研究  
拠点の形成を実施

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

A.大学、独立行政法人			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
科学技術試験研究委託	大学、独立行政法人等研究費	1,185			
計		1,185	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					